

多様

な生きものと

“あたりまえ”に暮らすまち

2020 年度
生物多様性アクションプラン
進捗状況及び点検・評価

岐阜市自然環境保全推進委員会

岐阜市生物多様性プラン

計画期間：2016 年度－2025 年度

第 2 期アクションプラン
2020－2022

岐阜市生物多様性プラン

計画期間：2016 年度－2025 年度

目 次

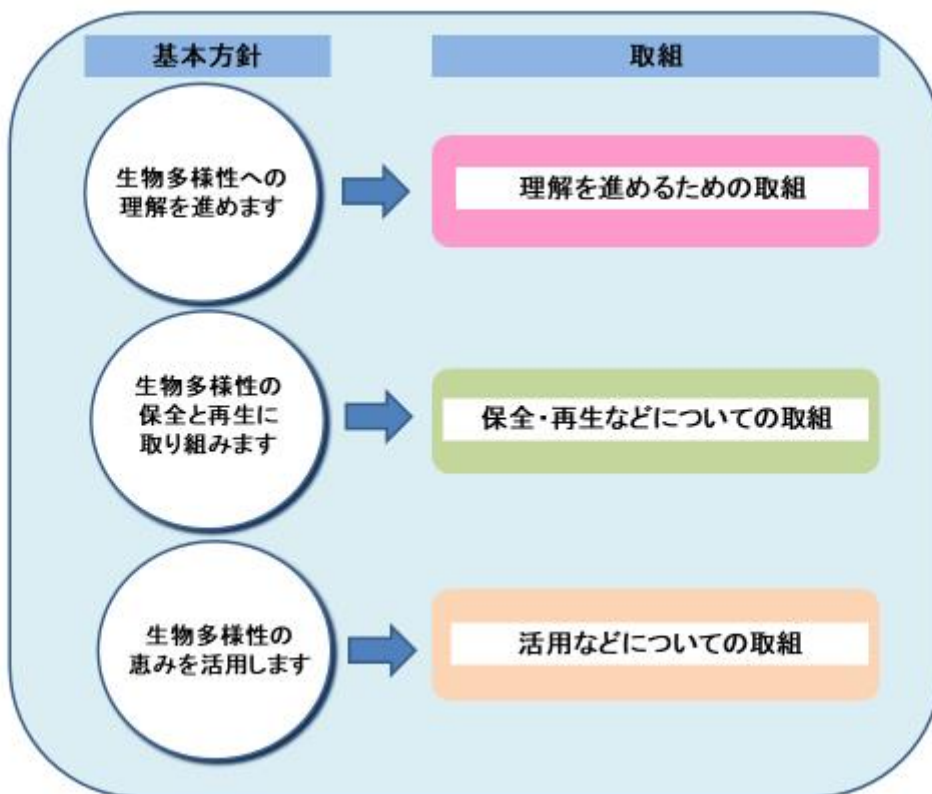
1. アクションプランの目的	1
2. アクションプランの期間	1
3. 第2期アクションプランの構成	
(1) 改定方針の考え方	2
(2) 重点目標の見直し	2
(3) アクションプランの構成	2
4. アクションプランの管理方法	3
5. アクションプランの指標と目標	4
6. アクションプラン総括表	
(1) 個別目標	5
(2) 全体評価	5
7. 個別目標	
(1) 個別目標個票 A1	6
(2) 個別目標個票 B1	7
(3) 個別目標個票 B2	8
(4) 個別目標個票 C1	9
(5) 個別目標個票 D1	10

1. アクションプランの目的

2016年3月に策定した岐阜市生物多様性プラン（以下、「生物多様性プラン」という。）では、目指すべき将来の岐阜市の姿を「多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち」とし、3つの基本方針に基づく取組を推進することとしています。

「生物多様性プラン」では、この取組の進ちょく状況を管理していくために、およそ3年ごとの数値目標を設定したアクションプランを作成することとしています。

図1 岐阜市生物多様性プランの体系



2. アクションプランの期間

アクションプランは3年ごとの期間とし、「生物多様性プラン」の計画期間の間に3回にわたってアクションプランを改定します。

表1 アクションプランの対象期間

西暦年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
和暦年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生物多様性プラン	策定										目標年度
アクションプラン		第1期アクションプラン			第2期アクションプラン			第3期アクションプラン			
		完了			策定			目標年度	策定		目標年度

3. 第2期アクションプランの構成

(1) 改定方針の考え方

第1期の進捗結果を踏まえ、達成度が低い取組を改善又は継続、達成度が高い取組を拡大に切り替え、アクションプランの見直しを行いました。

表2 第1期アクションプランの評価と策定方針の考え方

第1期アクションプランの個別目標	評価（達成度）	策定方針の考え方
A1 生物多様性認知度の向上	やや遅延	改善
B1 行政内部における生物多様性に対する理解の向上	順調	継続
C1 保全対象種の選定	順調	継続
C2 ホットスポットの選定	順調	拡大
D1 外来種対応指針の策定	順調	拡大
E1 行政・研究者・市民の協議会の向上	順調	継続
F1 「小さな自然再生」に係る協議・事業機会の向上	順調	継続
G1 長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動の向上	順調	継続
H1 生物多様性に関連した産業の推奨	順調	継続

(2) 重点目標の見直し

「(1) 改定方針の考え方」に基づき、第2期アクションプランで実施する重点目標を、「つながりの拡充・整備」を柱に整理・集約し、第1期で未達成だった目標「生物多様性の認知度向上」を改善します。

■重点目標「つながりの拡充・整備」

A 市民・行政内への周知・啓発

環境保全活動、環境教育、シンポジウムなどを実施し、市民・行政内部における、生物多様性の理解と認知度の向上を目指します。

B 生物多様性保全の連携ネットワークの拡大

市民・行政・有識者の連携ネットワークを拡大し、生物多様性の保全と再生の推進を行います。

C 生物多様性の現状把握と対策検討

「岐阜市の自然情報調査」を実施し、岐阜市の生物多様性の現状把握をすると共に、危機的な状況にある種等の保全のありかたを検討します。

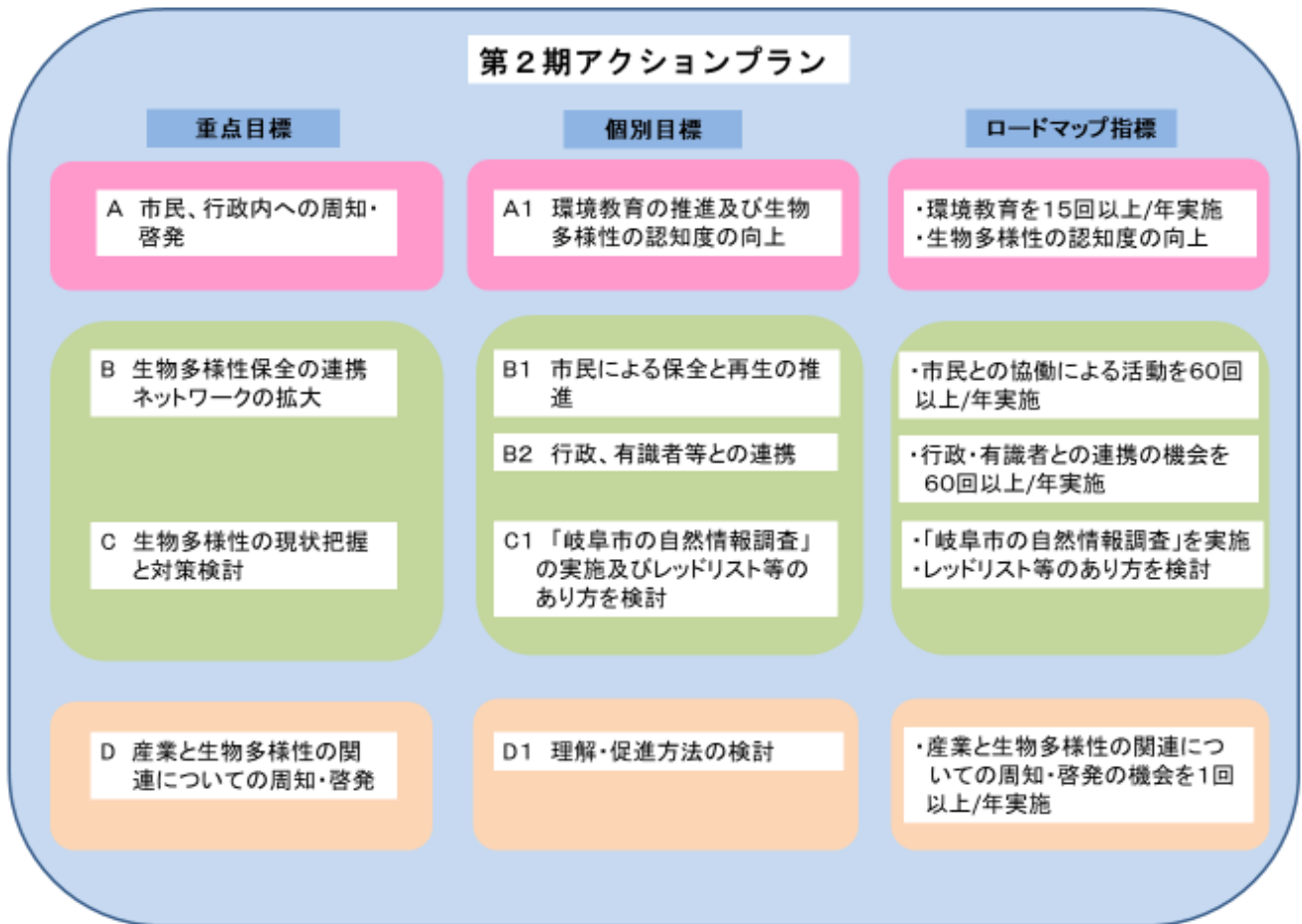
D 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発

産業のなかには、生物多様性と深く関係するものがあることを周知・啓発します。

(3) アクションプランの構成

第2期アクションプランでは、4つの重点目標、重点目標を達成するために必要な5つの個別目標、進捗状況を管理するロードマップ指標を設定します。

図2 第2期アクションプラン（2020～2022）の構成

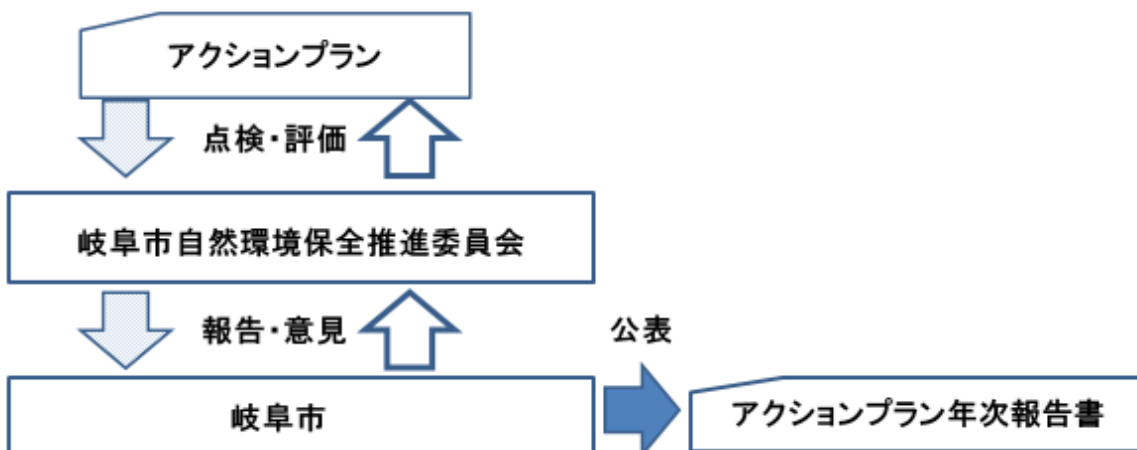


4. アクションプランの管理方法

「生物多様性プラン」では、アクションプランの進捗状況を毎年点検し、評価結果を公表することとしています。点検・評価は岐阜市自然環境保全推進委員会において行い、「岐阜市」は、その点検・評価結果を「アクションプラン年次報告書」にて公表します。

なお、点検・評価結果を踏まえ、必要に応じてアクションプランの見直しを行います。

図3 アクションプランの管理体制



5. アクションプランの指標と目標

指標	目標 (2022 年度)	進捗状況の実績		
		2020 年度	2021 年度	2022 年度
A1 環境教育を 15 回以上実施します (回/年)	15 回以上	15 回		
A1 生物多様性の認知度の向上を図ります (%)	50%以上	51%		
B1 市民との協働による活動を 60 回 以上実施します (回/年)	60 回以上	88 回		
B2 行政、有識者との連携の機会を 60 回以上実施します (回/年)	60 回以上	97 回		
C1 「岐阜市の自然情報調査」を実施 します	「岐阜市の自然情報 調査」結果とりまとめ	「岐阜市の自然情 報調査」を実施		
C1 レッドリスト等のあり方を検討 します	レッドリスト等のあり方を 決定 (2021 年度目標)	レッドリスト等の あり方を検討		
D1 産業と生物多様性の関連について の周知・啓発の機会を 1 回以上実 施します (回/年)	1 回以上実施	0 回		

6. アクションプラン総括表

(1) 個別目標

重点目標と個別目標	個票 ページ	進捗状況		
		2020年度	2021年度	2022年度
A 市民、行政内への周知・啓発				
A1 環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上	6	◎		
B 生物多様性保全の連携ネットワークの拡大				
B1 市民による保全と再生の推進	7	◎		
B2 行政、有識者等との連携	8	◎		
C 生物多様性の現状把握と対策検討				
C1 「岐阜市の自然情報調査」の実施及びレッドリスト等のあり方を検討	9	◎		
D 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発				
D1 理解・促進方法の検討	10	△		

進捗状況：順調◎、ほぼ順調○、やや遅延△、遅延×

(2) 全体評価

	意見	進捗状況
2020年度		
2021年度		
2022年度		

※岐阜市自然環境保全推進委員会の意見を記載する

7. 個別目標

(1) 個別目標個票 A1

基本方針	生物多様性への理解を進めます
取組	理解を進めるための取組
重点目標 A	市民、行政内への周知・啓発
個別目標 A1	環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象とした、水辺の生き物調査、出前講座、学生環境会議、金華山学習会等の環境教育を 15 回実施し、延べ 993 人参加しました。 ・小中学生を対象とした、除伐体験や自然観察等の市民団体との協働による環境教育を 14 回実施し、延べ 905 人参加しました。 ・水の循環や外来種について等の、市民団体等が行う環境教育が 30 回実施され、延べ 1575 人参加しました。(各委員や自然環境保全活動団体等への照会回答を集計) ・市民団体の開催する、シンポジウム等の環境教育活動の周知・支援を 3 回実施しました。 ・ネイチャーネットにて、行政・市民団体等の開催する環境教育活動を周知しました。 ・外来種の勉強会を開催し、行政内への周知を 1 回行いました。 ・広報ぎふに、外来種の周知啓発の文章を 1 回掲載しました。

ロードマップ

指標		2020	2021	2022
環境教育を 15 回以上/年 実施します 基準値 (2018 年度) 15 回	目標値	15 回以上/年 実施	15 回以上/年 実施	15 回以上/年 実施
	実績値	15 回		
生物多様性の認知度の 向上を図ります 基準値 (2018 年度) 35%	目標値	増加	増加	50%以上
	実績値	51%		

※環境教育の算出方法：岐阜市役所が行う、環境教育の合計

※認知度の算出方法：ぎふメディアコスモス来館者 500 人と「岐阜市エコフェスタ」来場者 500 人へのアンケート調査結果および市政モニター 200 人への認知度調査結果の平均 (2020 年度)

取組みによる効果

- ・生物多様性保全や持続可能な社会を推進する次世代を担う若者が育成されました。
- ・市民の自然に対する関心や愛着をより一層深めました。
- ・行政・市民団体等の開催する環境教育活動の参加者が増えました。

(2) 個別目標個票 B1

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取組	保全・再生などについての取組
重点目標 B	生物多様性保全の連携ネットワークの拡大
個別目標 B1	市民による保全と再生の推進
取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・自然ふれあい活動支援事業を実施し、里山整備等の地域住民を交えた環境保全活動を行いました。 ・達目洞や大洞里山の保全活動等、市民団体と協働した環境保全活動や協議を 72 回行いました。 ・長良川流域環境ネットワーク協議会が実施する、長良川環境学習や川の調査等の活動参加や支援を 11 回行いました。 ・市民団体が行う、生物多様性保全に係るイベントへの参加や支援を 5 回行いました。 ・ネイチャーネットにて、市民団体の保全活動等が周知されました。 	

ロードマップ

指標		2020 年度	2021 年度	2022 年度
市民との協働による活動を 60 回以上/年実施します	目標値	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施
	実績値	88 回		

取組みによる効果

- ・地域住民、市民団体、行政との協働による環境保全活動が促進されました。
- ・環境保全活動を通じ、市民との連携が促進されました。
- ・長良川流域の連携が促進されました。
- ・市民団体の行う生物多様性保全に係るイベントや保全活動等への参加者が増えました。

(3) 個別目標個票 B2

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取組	保全・再生などについての取組
重点目標 B	生物多様性保全の連携ネットワークの拡大
個別目標 B2	行政、有識者等との連携
取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・淡水産二枚貝やカタクリ群生地、達目洞等、貴重な動植物が生育する地域の整備等の環境保全について、行政や有識者と協議・協力を 33 回行いました。 ・伊自良川や石田川等、国や県が実施する改修計画や現地調査への参加・協力を 18 回行いました。 ・「岐阜市の自然情報調査」のための、行政、有識者等との連携を 44 回行いました。 ・各種団体等が行う、生物多様性に係るイベントへの参加や支援を 2 回行いました。 ・ネイチャーネットにて、各種団体が行う保全活動等が周知されました。 	

ロードマップ

指標		2020 年度	2021 年度	2022 年度
行政、有識者との連携の機会を 60 回以上/年 実施します	目標値	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施
	実績値	97 回		

取組みによる効果

<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、市民団体、行政との協働による環境保全活動が促進されました。 ・金華山国有林管理者と、市民団体の連携が促進されました。 ・生物多様性保全に係る行政、有識者の連携を促進しました。 ・「岐阜市の自然情報調査」が促進されました。 ・各種団体等が行う生物多様性保全に係るイベントへの参加者が増えました。
--

(4) 個別目標個票 C1

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取組	保全・再生などについての取組
重点目標 C	生物多様性の現状把握と対策検討
個別目標 C1	「岐阜市の自然情報調査」の実施及びレッドリスト等のあり方を検討
取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・「岐阜市の自然情報調査」の実施にあたり、分野ごとに調査方法を見直し、調査を行いました。 ・「岐阜市の自然情報調査」の実施にあたり、各調査員へ調査地点の選定等に係る情報提供や現地調査に係る調整事務を行いました。 ・国、県、大学、関係機関に働きかけ、「岐阜市の自然情報調査」に係る、資料、文献の調査を行いました。 ・岐阜市自然環境保全推進委員会を1回開催し、レッドリスト等のあり方を検討しました。 	

ロードマップ

指標		2020 年度	2021 年度	2022 年度
「岐阜市の自然情報調査」を実施します	目標値	「岐阜市の自然情報調査」を実施	「岐阜市の自然情報調査」を完了	「岐阜市の自然情報調査」結果とりまとめ
	実績値	「岐阜市の自然情報調査」を実施		
レッドリスト等のあり方を検討します	目標値	レッドリスト等のあり方を検討	レッドリスト等のあり方を決定	(レッドリスト等の選定)
	実績値	レッドリスト等のあり方を検討		

取組みによる効果

<ul style="list-style-type: none"> ・「岐阜市の自然情報調査」のデータ件数が増加しました。 ・「岐阜市の自然情報調査」を実施し、岐阜市内に生息・生育する動植物の把握を行いました。 ・市職員が「岐阜市の自然情報調査」に参加し、専門家と交流することで、動植物についての理解が進み、市職員の資質向上と環境行政の推進に貢献しました。 ・「岐阜市の自然情報調査」を通じて、次世代を担う若者の調査員が増えました。 ・次期レッドリストの策定方針についての方向性を決めました。
--

(5) 個別目標個票 D1

基本方針	生物多様性の恵みを活用します
取組	活用などについての取組
重点目標 D	産業と生物多様性の関連についての周知・啓発
個別目標 D1	理解・促進方法の検討
取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市自然環境保全推進委員会と普及・活用部会を各 1 回開催し、産業と生物多様性の関連についての周知・啓発方法等の協議を行いました。 ・普及・活用部会の中で、次の事を確認しました。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 市民が楽しく岐阜市の自然に親しみ、生物多様性やその恩恵を感じられるようなプログラムを検討したい (2) 生物多様性関連産業の取り組みにより、生態系サービスを受けていることや生物多様性保全に繋がっていることなどを意識している市民は少ないため、もっと周知したほうがよい 	

ロードマップ

指標		2020 年度	2021 年度	2022 年度
産業と生物多様性の関連についての周知・啓発の機会を 1 回以上/年実施します	目標値	1 回以上/年 実施	1 回以上/年 実施	1 回以上/年 実施
	実績値	0 回		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020 年度のワークショップなどは中止。

取組みによる効果

- ・2020 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ワークショップ形式で周知・啓発を行うアースレンジャーこども会議は開催できませんでした。
- ・2021 年度は、上記取組内容の (1) の趣旨を踏まえ、新たなプログラムとして、講演又はシンポジウム等による市民周知・啓発の場を設けます。